

# 会議概要書

会議の名称	令和4年度 伯耆町有線テレビジョン放送番組審議会
開催日時	令和5年3月28日(火) 13時30分から14時40分まで
開催場所	伯耆町役場 応接室
出席者	【番組審議会委員】 田中治伸、秋田寿江、加川賢明、大江國夫(齋藤匠委員欠席) 【事務局】 企画課 一橋室長 松浦、(有)メディアテック 下村
会議の主な内容	
【協議項目及び協議内容】	
【協議事項】 1. 自主放送番組について 2. その他	
【概要】	
1. 開会  2. あいさつ(田中会長)  3. 報告 (1) ケーブルテレビ加入状況 (2) 番組の放送状況 (3) 令和4年度番組モニター実施結果について (4) 視聴者から寄せられた意見 (5) 訂正放送の実施状況 (6) 放送事故 (7) 有線テレビジョンセンター改修について 以上を資料に基づき事務局より説明  ＜質疑・意見等＞ 会長 報告事項について、質疑等を求める。 会長 番組モニターについて、今回は放送会社に勤務経験のある人の応募があった。テレビ放送に専門的な知識のある人は一般の人とは見る視点が異なっているから、一般の人だけでなく、専門知識のある人が参加していて大変良いと思う。 放送番組について、番組モニターの意見にもあったが、『あの時あの頃』の特別番組が見たい。子どもや孫が小さい頃の発表会や集落の昔の活動の様子など、数年前のことを思い出しながら見ることができる番組であるから、平日のコーナーだけでなく、長尺で見ることができる番組があるとより良い。 一橋 『あの時あの頃』は誰もがなつかしく思いながら見ることができる番組。休日の2時間番組や年末年始の番組で特別版の放送を検討したい。	

- 秋田 以前、番組モニターの応募がなかった時期がある。ここ数年は3名程度の応募があり、良いことだと思っている。
- 年長児が自分の夢を話す短い番組（もうすぐ1年生）が良い番組だと思っている。見ていてほほえましい。
- 大江 ここ数年、防災に関する放送をしてもらっている。今年度は特に定期的なテレビ放送をしてもらっていて、そのおかげか、火災が少ないように感じている。
- 加川 農業委員会だよりを年2回発行している。発行に合わせて、農業に関するニュースや特集を組んでもらえたらと思う。
- 一橋 産業課や農業委員会事務局と連携を取りながら、農業委員会だよりとリンクした番組制作を行いたい。
- 会長 以前の放送番組で伯耆町内の集落をぶらぶらとめぐるような番組があった。その番組を再開してみてもどうか。「他集落はこんなことをしているのか」と発見があったり知り合いの出演を面白く見たりしていた。
- 一橋 10年ほど前に制作していた番組だったと記憶している。新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある中で、集落の活動が活発になるとそのようなニュースやコーナーの制作ができるようになるのではないかと思う。
- 加川 4ページの「放送全般に関するアンケート」というのは、番組モニターを対象にしたものか。
- 松浦 そのとおり。
- 加川 5名募集しているが、3名だけしか番組モニターがいない。応募がないのか。
- 松浦 そのとおり。毎年モニターを5名まで募集しているが、例年3～4名の応募のみ。
- 会長 テレビを見ている人が少ないというわけではないと思うが、一般の人は番組モニターとして感想を述べることはハードルが高いと思っているのではないだろうか。
- 一橋 先ほど副会長から話が出たように、数年前は番組モニターが0名の時期もあった。その時と比べると安定して番組モニターの応募がある。
- 松浦 事務局としては、一般視聴者からの率直な意見・感想をいただきたいと思っている。多くの人からの意見をいただき、より良い番組制作ができるよう番組モニターの募集時の広報などに力を入れたい。
- 会長 機器更新に関連して、現在収録するカメラは足りているのか。数年前には取材希望の連絡をした際に「カメラがないため取材できない」と断られたことがある。
- 一橋 昨年度、カメラの台数を増やしている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて全小中学校・保育園の行事を放送することとしたことによる増台。カメラの台数が足りないという状況はおおよそ解消されていると認識している。
- 下村 現在はカメラの台数が足りないということはほとんどないが、情報提供いただいた地域の行事実施日と小中学校の行事実施日が重なった場合に、撮影するスタッフが不足し、他の取材を断る可能性はある。
- 会長 伯耆町有線テレビジョン放送ができた当初、文字の間違いが多くあった。最近は誤表記を見ることなく、当たり前のことだが非常に良いこと。
- 下村 制作時・放送前の業務フローができており、間違った情報を放送しないような体制になっている。
- 会長 報告事項について、その他質疑はないか。
- 全会 なし

4.

会長 それでは議事の自主放送番組についてに進みたい。

～番組視聴～

会長 ご覧いただいた番組について、ご意見をいただきたい。

【番組：大山焼 鈴木治道さん】

会長 作陶への思いがよく伝わる番組。伯耆町でがんばる人やその活動を知ることができる番組だと思う。

秋田 1代目の俊之さんの作品を知っている。今回の番組を見ていて、俊之さんと治道さんとはできあがる作品が違っていることが感じ取れて面白かった。

【番組：二部小学校の取り組みを調査】

秋田 子どもたちが地域のために行う取り組みを知ることができた。

会長 地域の活動や取り組みの紹介は継続的にお願いしたい。今回のような内容はテレビで取り上げることによって「見に行ってみようか」と思うきっかけや他の地域の活動への良い刺激となっていると思う。

大江 番組制作について、メディア・テックにはスタッフが何名いるか。

下村 会社には13名在籍。出向しているものが2名いるため、伯耆町のテレビ製作に携わる者は11名。

大江 ニュースとして放送するトピックは、スタッフが情報収集をするのか。

下村 スタッフが情報収集をする場合もあれば、住民から情報提供いただく場合もある。

一橋 集落の行事や集落内で偶然目撃されたものなどの情報は、メディア・テックのスタッフや町職員では得ることが難しい。住民から情報をいただくことで、幅広くニュースを放送できる。

大江 取材したものは、全て取材当日にニュースとして放送するのか。例えば、住民から多くの情報提供があった際に、取材し、放送するとなると、放送時間30分のサイクルを超えてしまうような状況になることはないか。

下村 取材したものは、取材当日に放送するわけではない。1日2～3本をニュースとして放送しており、その本数以上は、翌日・翌々日に放送している。このため、1回の放送時間が30分を超えることはない。

一橋 現状、1回の放送時間が30分を超えてはいないが、今後放送すべきニュースが増え、30分の枠に収まらないような状況になれば、1時間サイクルの放送とすることも検討したい。

会長 議事その他はないか。

秋田 以前、短編ドラマを放送していた時期があった。そのようなドラマを作成して、放送してはどうか。

一橋 伯耆町合併直前のころに放送していて、町民映像制作同好会の方が撮影していた映像をお借りして放送したものだったと記憶している。また、「伯耆町に移住したら」というテーマで映像を作成したこともある。

令和6年度には伯耆町合併20周年を迎えることから、周年記念としてドラマを作成し、放送してもよいかもしれない。検討したい。

会長 その他なにかないか。

一橋 本会委員の任期が令和5年6月となっている。充て職の方は継続であるが、それ以外

の方についても、できれば継続しお願いできればと事務局では考えているところ。ご意見を求めるものではないが、時期が来たら手続を始めることとしているので、ご予定いただきたい。

一橋 そのほか事務局からはなし。

会長 各委員からは

全会 なし。

会長 それでは以上をもって番組審議会を終了する。